

中国を見て・感じて・探る…大連事務所発のレポート

大連のネットニュース「天健ネット日本語版」

## アメリカ・アウトレット：大連に 2 億ドル投資

28 日、アメリカ聯豊グループ理事長長倪挙と大連開発区がグランドハイアット香港で投資合意の署名を行った。投資総額 2 億ドルにおよぶアメリカアウトレットブランド直売店事業が正式に開発区得勝鎮へ進出する。

アウトレットとは欧米で流行の工場直売方式を用いて世界のブランド服、バッグ、化粧品などの商品を販売するチェーン店である。アメリカアウトレットブランド直売店大連事業は敷地面積 20 万平方メートルにおよび、2010 年 5 月に工事を開始し、2011 年に完成・営業に入る。アウトレットモールには 300 以上の国際一流ブランド品が並ぶ見通しだ。

(天健ネット日本語版)

大連市に本格的なブランドショッピング街ができたのが昨年 3 月だった。ルイヴィトン、エルメス世界の高級ブランドが入居したテナントビルで「時代広場」と呼ばれている。大連でこのような高級品が本当に売れるのか疑問視される向きもあったが、予想以上に売り上げを伸ばしていると聞いている。

そして昨秋には、その通りをはさんで正面に、別のブランドショッピングビルが一部オープンした。これは、対面の「時代広場」が予想より売れている証明かもしれない。

ブランド品が売れる背景は様々あると思う。もちろん、一番は中国富裕層の増加であることは間違いないが、その富裕層の増加が中国流の社会風習によって2倍・3倍と加速度的に売り上げを増やすことになったように思う。

中国人は一般的に派手好きで、面子を大切にするため、悪く言えば虚栄心が強い。今の中国社会で一番の富裕層である40代は、留学など外国生活経験者も多く、外国への憧れも強い。さらには、中国は贈り物をする習慣があり、このような富裕層へ年に何度か贈り物をせざるえない人間も多い。高級ブランド商品が売れていく条件はかなり整っている。

ブランド好きな人が、自分でブランド物を買う。ブランドを持っている人へはブランド物を贈る。ブランド好きな人は贈り物もブランド物を選ぶ。など雪だるまのようにブランドを買う人を増やし、ここ10年ぐらいの間に、見る見る売り上げが伸びてきた。

そして今回、ブランド商売の第2陣とも言えるアウトレットモールの進出が決まった。大連にブランド街が完成して、1年も経っていない。このビジネスの展開の早さが中国ならではで、日本人をビックリさせる。

このアウトレットの成否については、非常に興味深い。なぜなら、大連では、まだ道端で偽ブランド品が売られているからだ。日本ではすべて本物で、アウトレットは本物の在庫品やB級品であり、そこに偽物が混じることは想定していない。しかし、中国では、現在のブランド直営店でさえ、100%信用されていない。アウトレットにある商品を信用してくれと言うのは、今の大連人には難しいことのように思える。

2011年には、このアウトレットモールが完成する予定と報道されている。あと1年で、中国人のブランド好きがどこまで進むのか、偽物の取り締まりをどこまでやるのか、ブランド品を海外の免税店で買う人がどれだけ増えるのか、等等によってアウトレットモールの成否が決まってくるだろう。

いずれにしても、大連市にとってはアウトレットモールの誘致成功は、大きな意味を持つ。中国国内だけでなく日本人をはじめとする外国人観光客の誘致にも効果がある。新しいサービス業や観光業の推進に力を入れている大連市にとって、またひとつ大きな戦力が来年加わる。